

横浜市立大学において「脳脊髄腫瘍のバイオマーカーの探索と標的治療に向けた遺伝子解析及びヒト由来能脊髄腫瘍幹細胞株を用いた前臨床研究」に参加された 患者さん／皆様／方へ

脳脊髄腫瘍において、個別症例の治療効果、更には生命予後を予測する手法や新しい治療法の確立が期待されています。量子科学技術研究開発機構では、横浜市立大学で樹立した脳脊髄腫瘍細胞株並びに脳腫瘍移植モデルを用いてPETなどの分子イメージングやMRIを用いた脳脊髄腫瘍代謝研究、画像研究、放射性治療薬研究等を行うことで脳脊髄腫瘍研究の発展につながるものと考えております。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 脳脊髄腫瘍のバイオマーカーの探索と標的治療に向けた遺伝子解析及びヒト由来能脊髄腫瘍幹細胞株を用いた前臨床研究

[実施期間] (実施期間：2018年3月7日～2027年11月30日)

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所分子イメージング診断治療研究部

[研究責任者] 吉井幸恵

[協力/共同研究機関] 横浜市立大学医学部医学科脳神経外科学

[研究の目的] 横浜市立大学で樹立した脳脊髄腫瘍細胞株並びに脳腫瘍移植モデルを用いてPETなどの分子イメージングやMRIを用いた脳脊髄腫瘍代謝研究、画像研究、放射性治療薬研究等を行います。この研究により、個別症例の治療効果、更には生命予後を予測する手法や新しい治療法を確立できると期待されます。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

2002年4月1日以降に横浜市立大学付属病院脳神経外科において脳脊髄腫瘍の治療を受け、横浜市立大学において「脳脊髄腫瘍のバイオマーカーの探索と標的治療に向けた遺伝子解析及びヒト由来能脊髄腫瘍幹細胞株を用いた前臨床研究」に参加された方及び参加される方。

●利用する情報及び利用方法

横浜市立大学にて、手術時に収集された検体を細胞株化したもの。

[個人情報の取り扱い]

量子科学技術研究開発機構では、横浜市立大学で匿名化した試料の提供のみを受けるため、どの研究対象者の試料・情報か直ちに判別できません。(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。)

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、検体等の提供者もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[問い合わせ先：窓口] 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
量子医科学研究所分子イメージング診断治療研究部
研究責任者 吉井幸恵 電話：043-206-3426 (平日9:00～17:00)